



古屋理事長(左)が平塚盲学校に訪れた

平塚盲学校に寄付金

春めき財団 古屋さん

一般財団法人春めき財団が、神奈川県のみなびや基金を通じ、平塚盲学校へ教育環境の向上に50万円を寄付した。同財団の古屋富雄理事長が5月15日、同校を訪れ寄付目録の贈呈を行い同日、

県の教育局行政部財務課企画助成グループに振込みを済ませた。早咲き桜「春めき」の生みの親である古屋さんは長年にわたり「春めき」の寄付活動をし、全国各地に2千本以上を寄贈

してきた。昨年1月には財団を設立し、その活動の一つに、人の半生を歌と映像で振り返る「セレモニビデオ」DVD制作があり、その売上金の経費をのぞいた全額を視

聴覚障害者施設に寄付することになっている。

「春めき」には独特なフルーティな音があり、視覚障害がある人でも桜を楽しむことができる。古屋さんは「今回そのスタートとして、平塚盲学校に寄付をさせていただきました。今後はこの取り組みを拡大させていきたい」と話している。

■足柄版 / No.1841 2019年(令和元年) 5月25日(土)号